

リサイクルショップ(古着屋)に関する調査の結果

【調査のポイント】

古着屋で売買のいずれかを体験したことがある人は68.6%。
男性よりも女性のほうが経験者が多く、年代が低いほうが経験者も多い。
今後、古着屋を利用してみたいと思っている人は多く、92.4%が売買のいずれかをやってみたいと思っている。特に売買ともにやってみたいとの回答は57.6%にもなった。年代が若いほど、今後の利用意向も高いが、40代以上になると、30代と比べて利用意向は高い。リサイクルに関心が高い年代とも言えるだろう。

調査目的 リサイクルショップ(古着屋)の利用状況

調査方法 インターネットによる調査

調査対象者 「タウン情報おかやま」などの読者であるメール会員の中から岡山県在住者を抽出。

調査期間 2006年6月30日～7月6日

有効回収数 450件

回答者の属性

性別

カテゴリ	件数	(全体)%
男性	100	22.2
女性	350	77.8
計	450	

年齢

カテゴリ	件数	(全体)%
10代後半	12	2.7
20代前半	68	15.1
20代後半	138	30.7
30代前半	111	24.7
30代後半	68	15.1
40代以上	53	11.8
計	450	

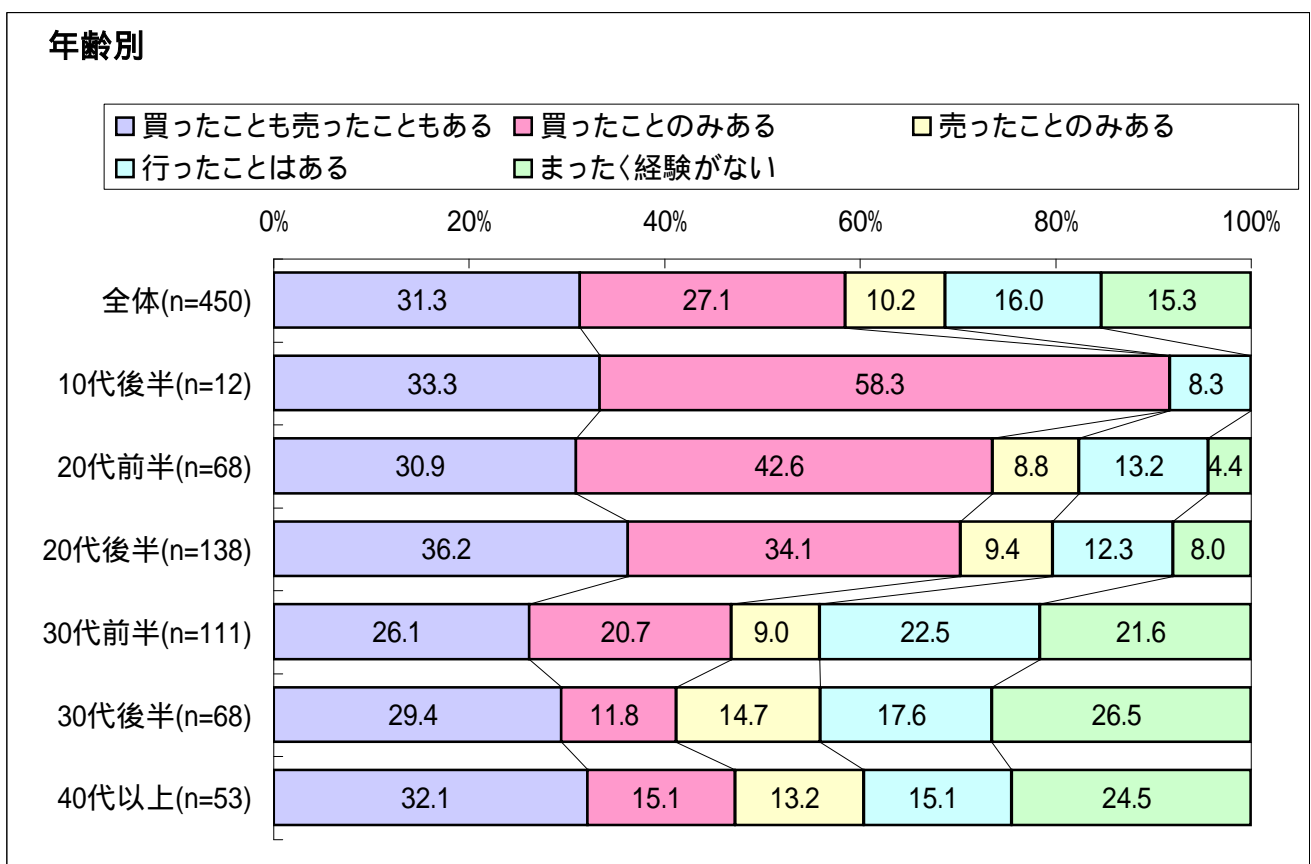
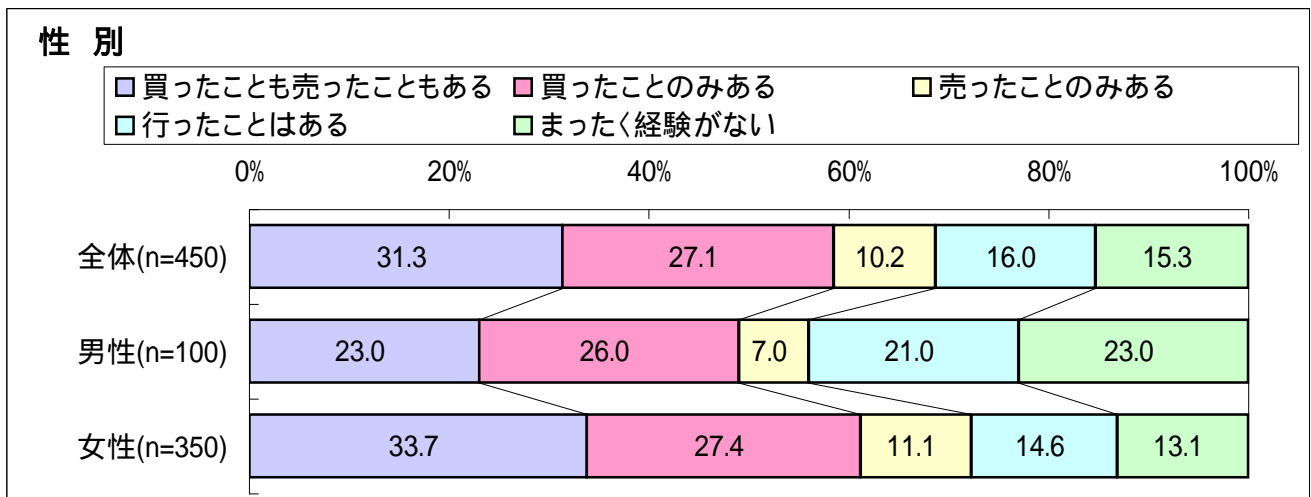
職業

カテゴリ	件数	(全体)%
学生	28	6.2
勤め人	254	56.4
自営業	11	2.4
パート・アルバイト	56	12.4
無職	50	11.1
その他	48	10.7
無回答	3	0.7
	450	

年齢

カテゴリ	件数	(全体)%
岡山市	213	47.3
倉敷市	123	27.3
津山市	4	0.9
その他岡山県内	110	24.4
計	450	

古着屋(リサイクルショップ)利用状況 (単一回答 全員)

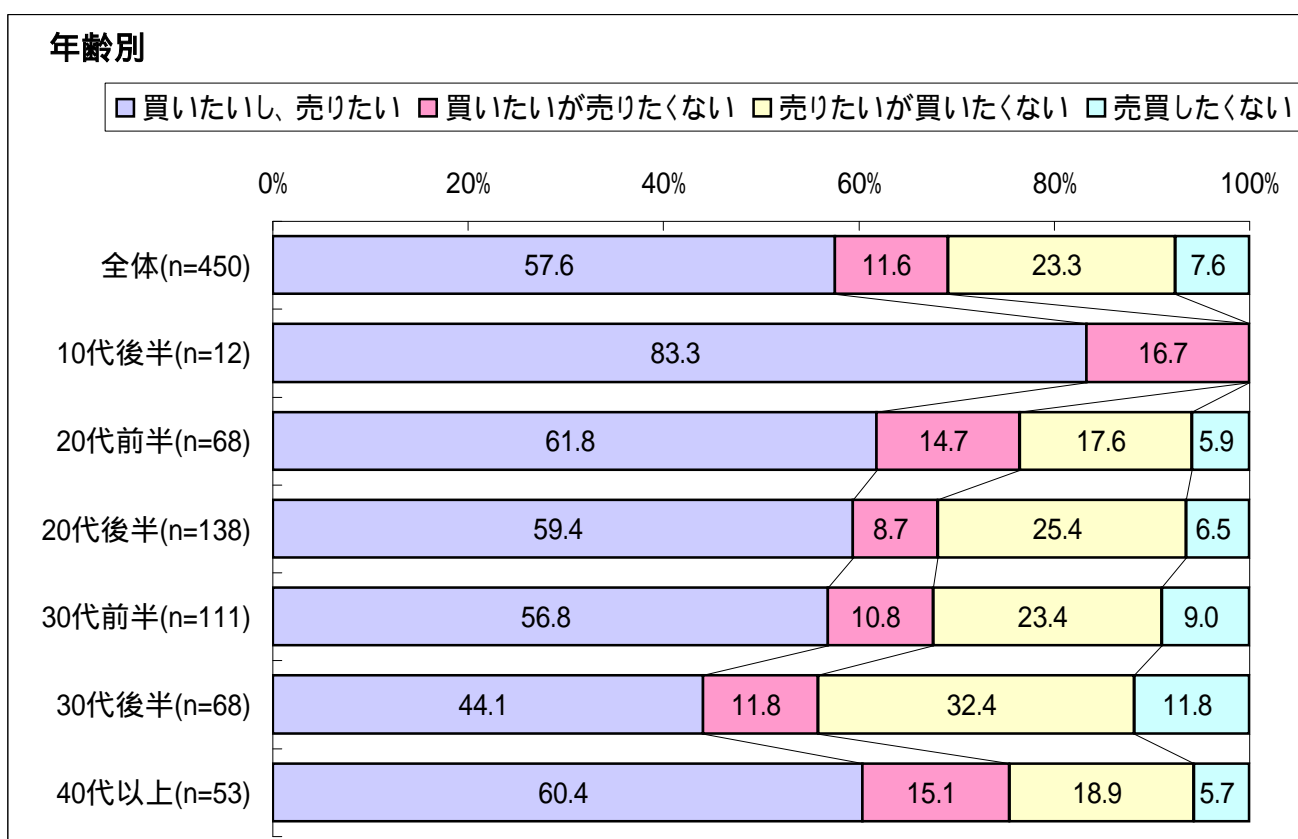
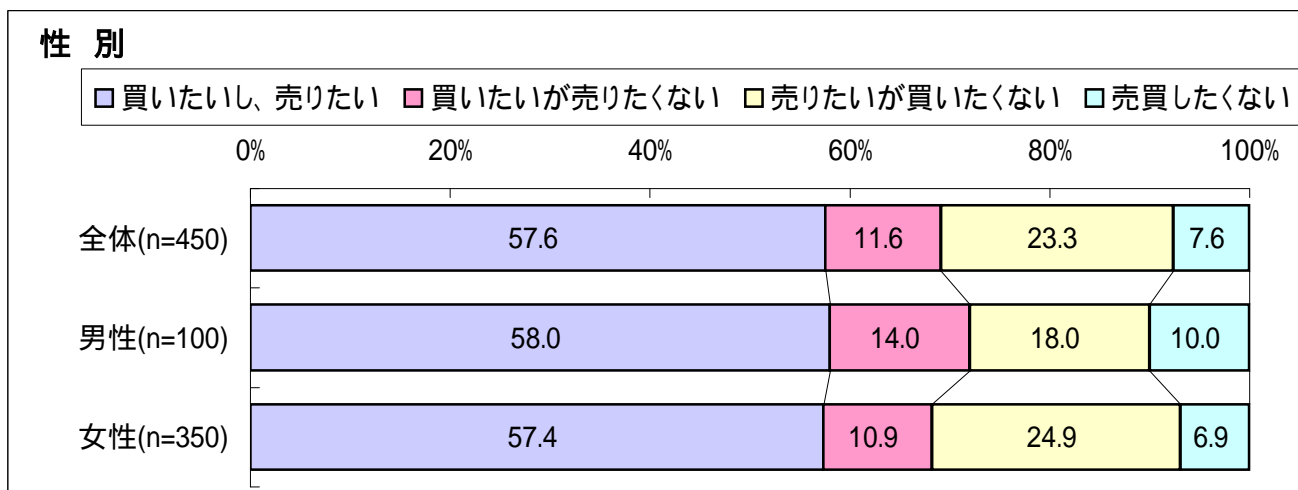


古着屋で売買を経験したことがあるのは、全体の31.3%を占める。「売ったことのみある」(10.2%)人よりも「買ったことのみある」(27.1%)人のほうが多い。古着屋に行ったこともない人は15.3%で、約85%以上が何らかの古着屋経験をしている。

男女別では、女性のほうが古着屋をよく活用しており、売買いずれかの経験があるのは、男性の56.0%に対して女性は72.2%を占める。

年齢別では、年代が低いほど利用経験者が多くなる傾向にあり、10代後半はサンプル数は少ないものの、全員が何らかの経験がある。特に「買ったことのみある」(58.3%)が最も高い割合を占めた。売買ともに経験しているのは20代後半が36.2%と最も高い。自分自身の洋服もある程度の数があり、流行にも敏感なため、「売る」ことで新しい服を買うという行為にもつながっているのではないだろうか。

今後の古着屋(リサイクルショップ)利用意向 (単一回答 全員)



今後の古着屋の利用意向だが、「書きたいし、売りたい」との回答が57.6%を占めた。実際に売買ともに経験があるのは31.3%で、26.3%が両方とも、新たに経験したいと考えている。また、実際の経験者では「買うのみ」の割合が高かったが、今後の希望としては、買いたくはないが、売ってみたいと考えている人が23.3%と、買うことのみを希望している人よりも多い。着なくなった服の処分先のひとつとして、古着屋を検討する余地がある人は、実際の利用者よりも多い。

性別では、売買ともに希望しているのは、ほぼ同率だが、「売りたいが買いたくない」との回答は、男性の18.0%よりも女性が24.9%と、高い値を示し、より「売りたい」意向が強い。

年代別では、やはり10代が関心が高く、「買いたいし、売りたい」が83.3%を占める。30代後半は「売りたいが買いたくない」が32.4%と、他年代よりも高く、古着を「買う」という行為に最も躊躇を感じている年代である。40代以上は、「買いたいし、売りたい」が60.4%を占め、20代前半に次いで3番目に高い値を示した。この年代は、現在は利用が少ないが、利用してみたいとの意向は持っている。